

2013年12月17日

報道機関各位

ソーシャルビジネス支援プログラム プロボノ支援先決定のお知らせ

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区 社長:藤井 秀延)は、社会貢献活動の中核的プログラムとして、『ソーシャルビジネス支援プログラム』を創設しました。

本プログラムは、ソーシャルビジネスに取り組む事業者を対象に「金銭的支援」と、当社役職員による「プロボノ支援」を実施するものです。書面及びプレゼンテーションによる社内選考を経て、以下3団体をプロボノ支援先に選定し、12月16日に賞金授与式を行いましたので、お知らせします。

団体名	代表者	主な事業内容
特定非営利活動法人 メタセコイアの森の仲間たち (猪鹿庁) http://metamori.org/ (メタセコイアの森の仲間たち) http://inoshika.jp/ (猪鹿庁)	興膳 健太	●岐阜県郡上市における地域活性化(ファン倍増、人財育成)を目的とする各種活動 ・子どもキャンプ事業 ・泥んこバレーボール大会 ・郡上ワゴン事業 ・猪鹿庁事業(猟師の6次産業化、鳥獣被害対策等)
公益社団法人 難民起業サポートファンド (ESPRESSO) http://espre.org/	吉山 昌	●難民等の起業に対する融資及び経営支援、並びにマイクロファイナンスに関する調査、研究及び広く日本社会に向けたアドボカシー事業
特定非営利活動法人 きずなメール・プロジェクト http://www.kizunamail.com/	大島 由起雄	●デイリーマタニティメール、産婦向けメール配信等による妊娠・出産・産後支援、子育て支援 ●妊娠・出産・産後・子育て支援のための情報発信

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社では、今後も、ソーシャルビジネスに取り組む事業者の支援に尽力してまいります。

「ソーシャルビジネス支援プログラム」の概要や今後の予定等については、添付資料をご参照ください。

▽プロボノ支援先に採択された各団体の代表の皆様



※左から、

特定非営利活動法人 メタセコイアの森の仲間たち(猪鹿庁) 興膳健太様

公益社団法人 難民起業サポートファンド(ESPRE) 吉山昌様

特定非営利活動法人 きずなメール・プロジェクト 松本ゆかり様

同 大島由起雄様

弊社代表取締役社長 藤井秀延

以上

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

革新創造センター 環境・社会貢献担当(奥野、^{おがみの}小神野)

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2

TEL:03-6733-1001

(会社概要)

【三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社】

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクとして、東京・名古屋・大阪の3大都市を拠点に、コンサルティング、グローバル経営サポート、政策研究・提言、マクロ経済調査、セミナー等を通じた人材育成支援など、国内外にわたる幅広い事業分野において多様なサービスを展開しています。

創立 : 1985年10月

資本金 : 20億6千万円

代表者 : 代表取締役社長 藤井 秀延
代表取締役副社長 長谷川 理雄
代表取締役副社長 丸森 康史

理事長 : 中谷 巖

従業員数 : 約700名

URL : <http://www.murc.jp>

『ソーシャルビジネス支援プログラム』の創設について

三菱UFJリサーチ&コンサルティングは、官公庁や企業をお客様として、社会的課題や経営課題に対するソリューションを提供しております。当社では、業務を通じて培った専門的知識や幅広いノウハウを活用し、総合シンクタンクとしての社会的使命を果たしていきたいと考えております。

そこでこのたび、社会貢献活動の中核プログラムとして、ソーシャルビジネスに取り組む事業者(SB 事業者)を対象にした「ソーシャルビジネス支援プログラム」を創設しました。

本プログラムは、シンクタンク・コンサルティングファームのノウハウを生かして、SB 事業者の皆様が抱えている経営上の課題解決や事業の高度化を支援するものであり、支援先団体に対しては、賞金を授与するとともに、当社役職員によるプロボノチームが伴走者となって活動を支援します。

なお、本プログラムの企画・実施にあたっては、社会課題の解決に取り組む事業者との協働において豊富な実績とノウハウを有する、特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京のサポートを受けております。

1. ソーシャルビジネス支援の基本的な考え方

本プログラムでは、以下のような取り組みを行う事業者の皆様を支援したいと考えております。

- 多くの人々が共感し広く世の中に展開したいと思える共通善・社会善への取り組み
- 社会に変化を生み出し潮流を変えるような革新性・創造性のある事業

2. ソーシャルビジネス支援プログラムの特徴

■ 総合シンクタンクの知見を生かした成長支援:

政策や経営に明るい当社役職員で構成するプロボノチームと一緒に、事業を成長させるための支援を行います。

■ 当社ネットワークを通じた支援:

当社プロボノチームの幅広い人的ネットワークを活用し、必要に応じて専門家を紹介します。

■ 広報活動の支援:

当社の広報ネットワークを活用して、広報活動の支援を行います。

■ 仲間との出会いの場の提供:

ソーシャルビジネスを志向する仲間との出会いの場を提供します。

【特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京(SVP 東京)について】

ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京(SVP 東京)は、社会的な課題の解決に取り組む革新的な事業に対して、資金の提供と、パートナーによる経営支援を行う NPO 法人です。投資協働先であるソーシャルベンチャーのミッション達成に貢献すると同時に、当会社の社員たるパートナー自身が、投資・協働先への支援に参画し、地域や社会への関与を通じて、イノベーションに貢献することをその使命としています。

- 創立 : 2003 年
- 代表者 : 岡本拓也
- パートナー数 : 96 名(2012 年 12 月末現在)
- URL : <http://www.svptokyo.org/>

3. ソーシャルビジネス支援プログラムの概要

(1) 支援対象先／募集分野

- 法人格を有し、下記のいずれかの分野の課題解決に取り組む SB 事業者
 1. 少子高齢社会対策
 2. まちづくり・地域活性化
 3. 共生社会づくり(女性・外国人・障害者等)
 4. 次世代教育
 5. 環境保全
 6. 伝統・文化継承
 7. 途上国支援、
 8. その他、持続可能な社会の構築に資する事業

(2) 支援内容

- 資金的支援(寄付)
 - 各 SB 事業者への賞金額は、当社役職員の投票結果に応じて決定
- 人的支援(支援チームによるプロボノ活動)
 - 支援体制；
 - 役職員 5 名以上で支援チームを組成
 - 支援内容；
 - 事業戦略立案、市場動向調査、営業ツール作成、関係者の紹介、イベント運営支援 等
 - 支援期間；
 - 約 5 か月間(2013 年 12 月～2014 年 4 月)
 - 支援チームへの活動補助 ；
 - 当社役職員の交通費は、一定の予算範囲内で会社が負担
 - 必要に応じて、当社インフラ(社内会議室等)の利用を許諾

(3) プロボノ支援先の選考方法

- 役職員の投票(支援票、共感票)によって、プロボノ支援先団体及び賞金額を決定
 - 支援票(プロボノ支援を希望する役職員による投票)
 - 5 票以上の支援票が集まった団体(上位 3 団体)を支援先団体として決定
 - 投票者による支援チームを組成し、プロボノ支援を実施するとともに、金銭的支援として、賞金 50 万円を授与
 - 共感票(すべての役職員による投票)
 - プレゼン選考会に参加した全団体(今回は 6 団体)を対象として、各団体の得票数に応じて「共感賞」(総額 50 万円)を分配

(4)実施スケジュール

- 2013年9月～10月
 - 募集開始 ⇒ エントリー締切
 - 「社会貢献人材バンク」の開設、社内勉強会の開催
- 2013年11月
 - プレゼンテーション選考会の実施
 - 役職員による投票実施 ⇒ プロボノ支援先、賞金額決定
- 2013年12月
 - 賞金授与式
- 2013年12月～2014年4月
 - プロボノ活動の実施
 - 月1回以上の定例ミーティング開催
- 2014年5月
 - 最終報告会の開催

以上